

(財) 自治体国際化協会
平成20年5月27日

平成20年度 自治体国際協力専門家派遣事業の第一次派遣
(中国・山西省大同市) について

(財) 自治体国際化協会では、自治体が海外の自治体等と行う国際協力事業に対して各種支援を行っております。

この度、国内の自治体職員が有する技術や知識を国際協力の分野で有効に活用し、海外の現地・地域における技術力の向上や人材の育成に寄与し、国内外の自治体の友好協力関係の促進を図る『自治体国際協力専門家派遣事業』について、平成20年度事業として、中国自治体の要請に基づき、下記のとおり、中国の山西省大同市に、福岡県大牟田市の職員1名を専門家として派遣いたします。

なお、今回の派遣は、平成20年度の第一陣であり、現在、中国等から農業技術、都市計画、文化財保護等の各分野において要請があり、国内の自治体との調整が済み次第、順次派遣をする予定です。

記

〈第一次派遣の内容〉

派遣先 中華人民共和国山西省大同市

派遣者 福岡県大牟田市 都市整備部都市計画・公園課 喜田裕康氏

派遣背景 大牟田市と大同市は姉妹都市関係にあり、平成16年から環境分野の国際協力を実施している。

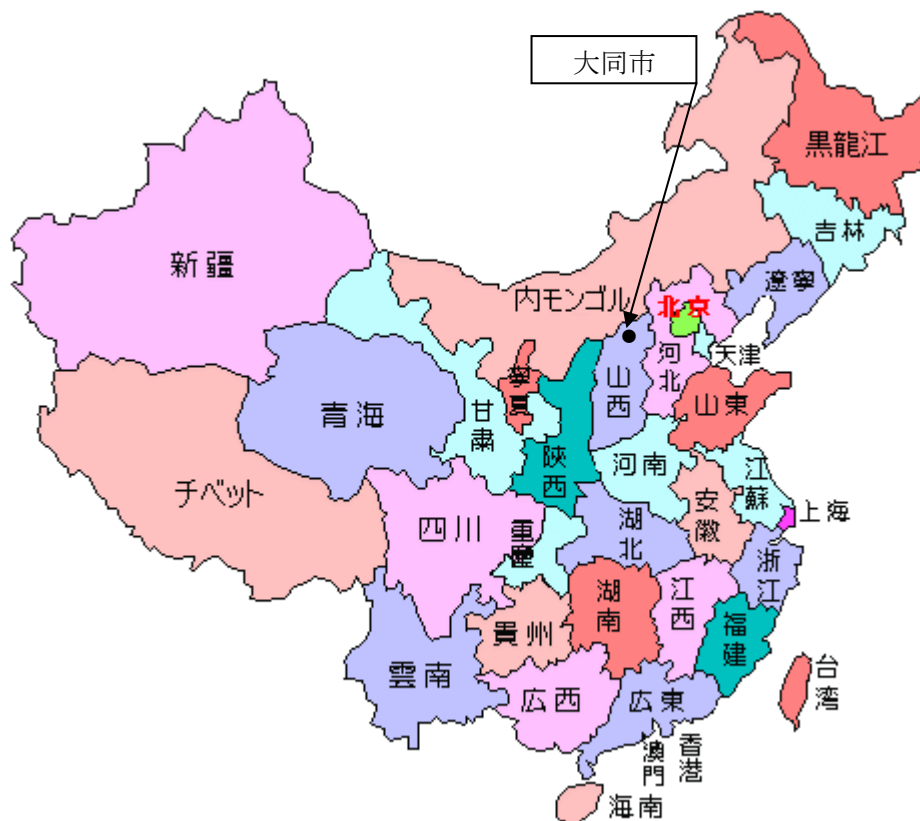
平成18年度より、当協会の事業を活用して、都市緑化・造園技術の指導を行ってきており、今回は特に「エコロジー緑化」と呼ばれる手法を使って桜を植樹し、「友好の森」を育てる為の指導を行う。

派遣期間 平成20年6月3日(火)～6月11日(水) 9日間

連絡先

(財) 自治体国際化協会
支援協力部国際協力課
課長：藤井 主査：山中
電話：03-5213-1726

1. 派遣先場所



大同市のデータ

人口：約 300 万人

面積：14112.56km²

2. 派遣先機関

中国山西省大同市園林管理局

山西省大同市園林管理局は、10 の科・室が設けられており、551 名の職員で組織されている。主な業務は、都市緑地の企画、園林緑化デザインと定量管理、園林建築のデザインと監督・施工、年度緑化任務の実行、都市緑化技術の発展・研究及び企画、珍奇植物品種の導入・栽培・管理である。

自治体国際協力専門家派遣事業について

1. 事業目的

国内の自治体関係者が有する技術や知識を国際協力の分野で有効に活用し、海外の現地における技術力の向上や人材の育成に寄与するとともに、国内の自治体と海外の自治体等との友好協力関係を促進するため、国際協力に関するノウハウを有する自治体職員（退職者も含む）を登録している「国際協力人材バンク」等から選考し、海外の地方自治体等の要請に基づいて、自治体国際協力専門家として派遣する。（平成10年度から実施）

2. 事業内容

(1) 海外の地方自治体等の要請に基づいて、自治体国際協力専門家として派遣する。

派遣分野：農業、林業、環境、土木、都市計画、医療、教育など32分野

派遣者：国際協力人材バンクに登録している自治体職員及び退職した職員

派遣先：当面、中国、東南アジアを対象

派遣期間：原則、3か月以内（概ね10日間から1か月程度）

(2) 派遣実績

平成10年度：中国3名（農業、環境保全）、平成11年度：中国6名（農業）

平成12年度：中国6名（林業、農業）、ベトナム1名（福祉）、カボジア3名（教育）

平成13年度：ラオス5名（教育、法律）

平成14年度：中国1名（環境）、インドネシア1名（法律）、シマール1名（上下水道）、
ラオス1名（法律）

平成15年度：ラオス2名（教育）

平成17年度：中国2名（農業、環境）、カボジア1名（窯業）

平成18年度：中国16名（農業、林業、畜産、環境、交通計画、都市計画）、
カボジア1名（窯業）

平成19年度：中国9名（農業、文化財保護、畜産、環境、都市計画）、
タイ4名（消防防災）

(3) 平成20年度派遣予定数 21件

3. 自治体国際協力人材バンクについて

(1) 内容

自治体職員（OB含む）で、国際協力についてのノウハウと熱意を有している者をデータベースとして登録し、当協会の「自治体国際協力専門家派遣事業」での活用や自治体が発行する各種セミナーなどでの活用を図るため、平成9年度に設置

(2) 登録状況

登録者数：1,376名（平成20年4月現在）

登録分野：農業160名、教育127名、環境保全87名、保健衛生91名、林業82名 等